



## 谷町政で住民サービスが低下

町長 ご理解を求めていく

春日 隆司 議員

**政治家は言葉が命**

**質問** 言ったことには責任を持つ、常に信念と覚悟をもって進めると公言されている。昨年のバイオマス事業の町民説明会で、この事業に政治生命をかけると発言したことが町民から問われているが。

**町長** エネルギー政策というのは、政治生命を賭けながらやっていく必要がある。

**親族会社との利害関係**

**質問** 清く正しくなければならぬというのが政治家である。町長は発注している親族会社の株を持っているが利害関係をどう考えているのか。

**町長** 会長を務め、平成27年3月末退任した親族企業の株券を町長就任時6千350株保有。計画的に減資

している。利害関係はない。指名願いに私は入っていない。

**再質問** 親族会社が儲けたら株主(町長)は儲かった分還元してくださいという権利がある。町の政治倫理審査会(第三者機関)にかけていただく考えはないか。

**町長** 審査委員会にはかかる物もない。

**再質問** 親族会社にご迷惑がかかっているのではないか。

**町長の不都合な真実**

**質問** 谷町政で財政状況が悪化し町民サービスが低下している。各団体、町民のサービスが全額、2、3割と減額されようとしている。まず、自ら給料を削減すべきというのが町民感覚でないのか。町長にとって不都合な真実だと思うが。

**町長** 総計の中で収支バランスが取れる計画を立て住民の皆さんに説明しながら、理解を求めていく。

**再質問** 財政状況が悪化したのは、総合計画どおりに行っているからである。町民の方も町長は民間経営者だから財政がこれだけ厳しい状況になることは想定していなかったと思う。

**職員は宝であり財産**

**質問** 町職員の中途退職が非常に多いが原因は。

**町長** 平成28年度から19名の職員が退職。原因は、時代の変化に伴って業務量が増加していることなどが要因の一つ。

**再質問** 他人事に聞こえてしまう。働く人は人間であ

り、心を持って働くわけだが、それを業務量が増加しているのが原因とは。本当悲しくなる。人は宝であり財産である。

**町長** やはり時代の中で業務量の増加等要因が大きい。

**再質問** あれをやったこれをやったではない。町が住みよくなったかどうかである。平成26年は約8割の人が下川町は住みよいと言っている。平成29年の谷町政では73%と少なくなっている。私の結論は、原田町政で循環型の森づくり。財政も安定化。それをベースに安齋町政。谷町政は結果として継承ができていないのではないか。数字を根拠に示させていただいた。